

12 無側枝性ギク「岩の白扇」夏秋出し栽培法

福島県農業試験場 いわき支場
平成12年度農業試験場試験成績概要
分類コード 05-08-18000000

部門名 花きーキクー作型・栽培型
担当者 矢吹隆夫・渡邊理恵子

I 新技術の解説

1 要旨

- (1)無側枝性ギク「岩の白扇」は直挿し栽培が可能であり、直挿し後10日程度で発根し活着する。また直挿し栽培は慣行挿し芽栽培と比べて切り花品質が優る。
- (2)2L規格の切り花品質を確保するためには、電照終了時の草丈が50cm以上必要である。
- (3)7、8月に切り花するための電照終了時期は目標切り花時期のおよそ50日前、9月に切り花するための電照終了時期は目標切り花時期のおよそ40日前頃である。

2 期待される効果

- (1)直挿し栽培を行うことにより、育苗用資材が不要となりコストが低減される。さらに定植作業を省略できるため栽培の省力化が図られる。
- (2)電照を行うことにより切り花品質の向上及び作期の拡大が図られる。

3 適用範囲

県内全域。ただし施設栽培とする。

4 普及上の留意点

- (1)直挿しを行う場合はポリフィルム等で被覆し、さらに直射光を避けるため遮光する。また、直挿し中の水分管理は土性により調節する。
- (2)開花期の調節については各栽培地で気象条件等が異なるので、指標を目安に現場に応用する。

II 具体的データ等

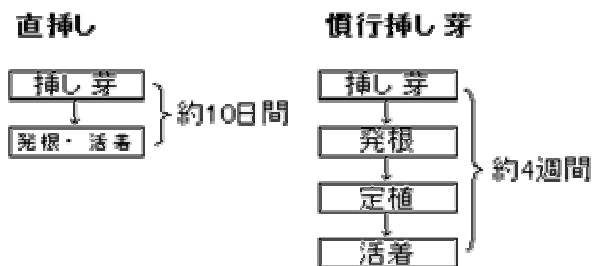


図1 直挿しと慣行挿し芽の行程及び期間の比較

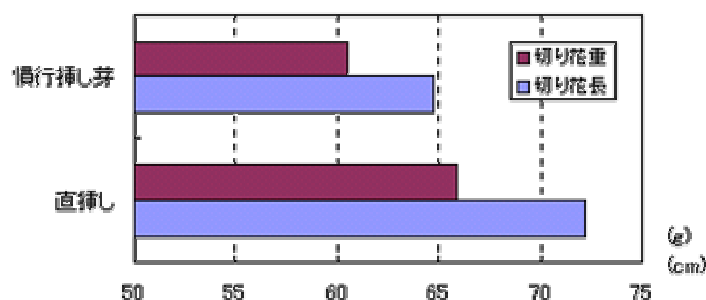


図2 挿し芽方法の違いと切り花品質(平成9年)

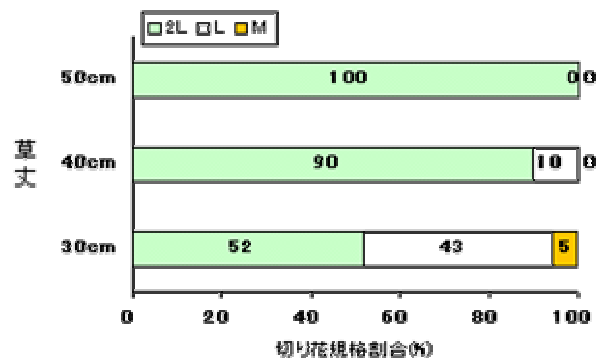
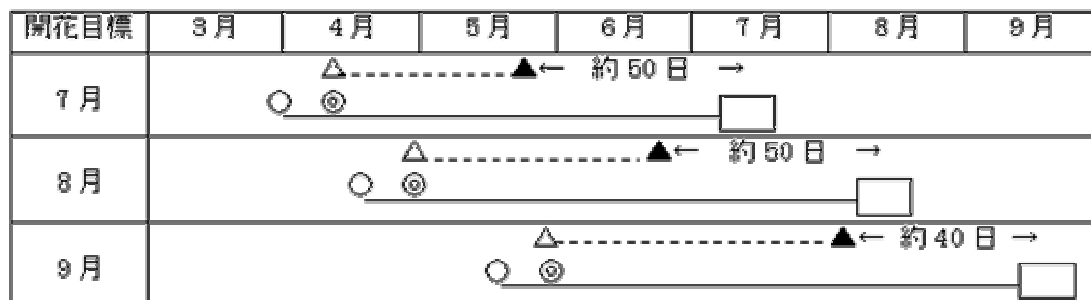


図3 電照終了時の草丈の違いと切り花規格(平成11年)



○: 直挿し ◎: 除覆、摘心 △: 電照開始 ▲: 電照終了 □: 切り花

図4「岩の白扇」の夏秋出し栽培体系

Ⅲ その他

- 1 執筆者 : 矢吹隆夫、渡邊理恵子、草野秀一
- 2 主な参考文献・資料 : なし